



保健だより 3 年生特別号

2020 年 12 月発行 市岡東中学校

性感染症について、港区保健福祉センターの保健師に来ていただき、3 年生にお話しをしていただきました。よくわかったと答えた人 62% わかったと答えた人 38%で皆さんとても真剣に聞いてくれました。感想文を全て載せたいぐらいですが、紙面の都合上一部になりますが紹介します。

・症状が出るまでに何十年もかかることがあることに驚きました。症状が出なくて自分がかかっているかわからないというのが怖いと思いました。でも咳やくしゃみ、握手などではうつらないので安心しました。死亡する病気だとはじめて知ったので早期治療が大事だと感じました。保健センターで様々な対応をしてくれるのがあります。性感染症や妊娠とかは本当に大事なことからよく考えないといけないと思いました。

・断る意志が一番大切だと思ったし、性感染症にならないためにちゃんと予防することが大切だと学びました。先生の話し方がとても優しく怖いと思わずに聞けました。将来大人になったときに嫌われたくないからという理由で断らずに自分が傷つくことはないようにしっかり自分の安全を考える大人になろうと思います。ありがとうございました。

・性感染症という病気を今日初めて知りました。特に水を使った実験や「菌やウイルスは目に見えなくて知らない間に広まってしまっている」という事が今コロナウイルスでよく耳にしたり、実感したりしているので、今日の話がより他人事ではなく、身近な事なんだという事に気づけました。丁度、保健の授業で薬物は断る勇気が大事と習ったところでした。今日話を聞いて改めて自分（相手）を守るには断る勇気が大切だと思いました。



そうですね！断ることはとても大事です。断られた方もお互いを守るためなのだとことを覚えていて欲しいです。

・今日の性感染症の話を聞いて、私も将来に向けて、しっかり考え、今日教えていただいたことをしっかり頭にいれておこうと思いました。又、性感染症に、男性は 50%、女性は 80% もの人が無症状と知って驚きました。無症状だと、大丈夫と思ってしまいがちですが、もしかしたらもっているかもしれないので、検査を受けておいた方がよいなと思いました。SNS などの情報も、何に対してもうのみにせず、正しい知識を得ることが大切だと、改めて思いました。

・あまり知らなかった性感染症について知れて良かったと思います。性感染症はいろんな種類があって症状にも男女それぞれ違うと初めて知りました。避妊や性感染症にかからないためにもコンドームは必要なんだなと思いました。初めて聞いたことが多くておどろいたことなどもありましたが親や先生には聞きにくいことをたくさん知れて良かったです。

・「性感染症」の名前は知っていたけど詳しいことは何も知らなかったのが今日、この機会を通して学べて良かったです。感染の実験がとても分かりやすくて全員にうつっているのを聞いたときは驚きました。100%感染しないわけじゃないけど、予防することが大切だということ学びました。私も将来結婚して妊娠するとなった時は今日の話を思い出して、相手を思いやり、細心の注意をはらって気を付けます。

・「性感染症」という言葉は聞いたことしかなかったのが、AIDS や梅毒など色々な種類のものがあることをはじめて知りました。コンドームは妊娠の予防になるというイメージはありましたが、性感染症の予防になることは知らなかったです。まだ10代だし、あんまり関係の無い話のようでも、今から正しい知識を学んでおくことも大切な事なんだなと思いました。実験では、一人のコップの水から全員のコップの水に広がっていて、分かりやすく性感染のリスクについて考えることができました。今回、新しいことをたくさん知ることができてとても良かったです。自分も予防することが大切だなと思いました。

・私は、性感染症という病気を知りませんでした。それに、そんな病気があるときいたとき、そんなに怖くなさそうと思いました。でも、説明をきいていると、20代が多く、10代でも感染することを知って驚きました。自分が知らない間にもしかしたら、感染しているかもしれないときいたとき、とても怖いなと感じました。そして、この性感染症は、かかっても気づくのにかかると時間がかかるので、その間に誰かにうつしてしまっていたら…と不安にもなりました。今の時期では新型コロナウイルスがとても流行っていて本人に症状がなくても、感染している場合があると思うので、どちらの病気も気を付けて予防することが大切ということを知りました。

・性感染症を聞いたことはあったけど、どういう症状が出るのかなどは知らなかったのがよく知ることができて良い経験ができたと思いました。自分は、まだ若いし、あまり関係ないと思っていたけど、感染者の中で10代も少なからずいるということを知って大きく考えが変わりました。正しい知識を身につけて、対策をしっかりしなければならないと思いました。

・性感染症は、人にうつしてしまうだけでなく、将来不妊症にもなってしまう怖いものだなと思いました。水の実験ではどのくらいうつしてしまうのかがとても分かりやすかったです。今回のお話で性感染症と妊娠を防ぐためにはコンドームを使うことが大切なのと、コンドームをつけない人に対しては断る勇気を持つことが大切だと分かりました。その勇気で自分だけでなく相手も守ることができるんだなと思いました。

・10代の人でも性感染症や妊娠してしまっている人がいるということを初めて知れたし、コップの水の実験では3人くらいが感染しているのかと思ったけれど全員がなっていてとても驚きました。たくさんの大切な知識を教えてください、ありがとうございました。自分も人を大切にしていきたいと思いました。

Q. <質問>・普段、親や先生などに聞きにくいことや疑問だったことなどを詳しく分かりやすく知れて良かったです。HIV やエイズなどの言葉は聞いたことがあったけど性感染症ということを知らなくてそのことについても教えてください症状などもすごく分かりやすく聞けたので良かったです。もし性感染症にかかってしまって、検査は匿名^{とくめい}で無料で受けられるけど、治療などは匿名、無料で受けたり安くなったりすることはないのか知りたいです。

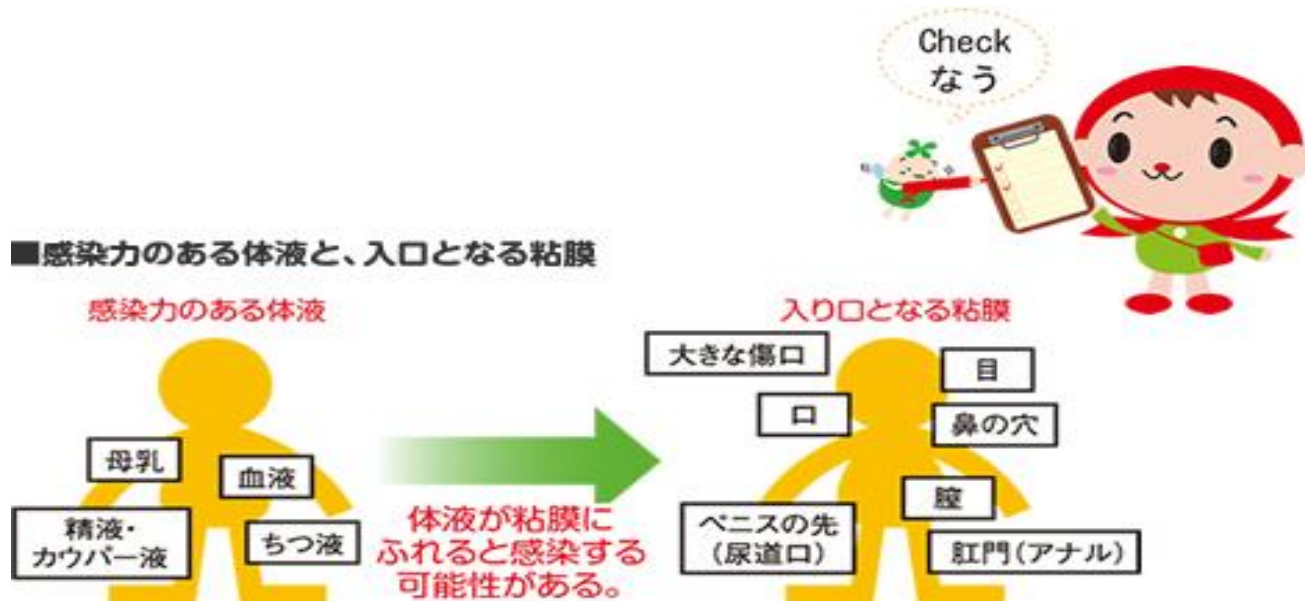
A. (答え)残念ですが治療は匿名では受けられません。治療は高額なので保険証の提出が必要になるからです。一定の条件を満たせば減額^{げんがく}される方法もありますし治療方法も飛躍^{ひやくてき}的に進んでいます。

Q. HIV やエイズはきいたことはあったけど、後の5種類の性感染症はきいたことがなかったのでこんなに種類があるんだなと思いました。普段、親とかに教えてもらえないことなので学校で性教育として学べる機会がありとても良かったと思います。性感染症は6種類だけなんですか？

A. 梅毒^{ばいどく}・淋菌感染症^{りんきん}・HIV・性器クラミジア感染症・性器カンジダ症・性器ヘルペス以外にも
臈^{ちつ}トリコモナス症・尖圭^{せんけい}コンジローマ等もあります。

Q. 性行為をせずに性感染症はおこりますか。

A. 精液や体液、だ液、血液に多くウイルスや細菌^{しんきん}、真菌^{げんちゅう}、原虫が含まれているので性行為が一番移りやすいのですが、キスをしたり他の行為でも感染リスクはあります。主な感染経路は、感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触です。性感染症とは性行為(キスやベッティングも含む)によって、人から人へ直接感染するすべての病気のことを言います。



Q. 他人からもらうのではなく、自分だけで発症しますか。

A. 感染している人との性行為、濃厚接触がなければ感染、発症しません。
まれに先天性梅毒など生まれた時に感染している場合もあります。

・エイズの名前は知っていたけど症状など詳しいことまでは知らなかったのでエイズについてもよく分かりました。予防方法とかもあることは知りませんでした。他にも血などでかかることがあることが分かったので誰でもなる可能性があるということも分かりました。色んなことで大阪市も協力していることには驚きました。市などが取り組んでくれると感染してしまった人でも安心できるんじゃないかと思いました。



性感染症は性的接触により誰もが感染する可能性があります。

保健師と保健委員がコップの水で実験したように、感染の自覚のない人が性交渉をし、その相手がまた別の人と性交渉があり、そのまた相手が他の人と・・・というようになれば、コップの水が赤く染まっていた時のように、あっという間に感染が拡大します。

性感染症は自覚症状が少なく、潜伏期間(感染してから症状が出るまで)が長いので自分が感染していることを知らずに相手に感染させてしまうこともあるということ、そして感染しないためには予防が大事だということを教えていただきました。

卒業したら行動範囲がグーンと広がり、今までとは違う世界を知ることになることでしょう。

性感染症にかからないためにはどうすればよいのか、望まない妊娠をしないためにどうすればよいのか、コンドームのお話しも少し出てきましたが、正しく装着しないと失敗することがあります。

一番安全で確実なのは「NO SEX」性的関係を持たないこと、そして何よりも大切なのは、正しい知識を持ち行動すること。そして好きな人、大切な人ができたら将来のことや大事なことを真剣に話し合えるような関係であり、お互いを思いやりあい、守りあい、実行することです。

性的同意ってなんだろう？

「紅茶を飲む？」と聞いて…

- ・相手が「いい」と言った
- ・最初は「いい」と言ったけど、用意をしている間に気分が変わって「いい」と言った

こんなときではいけないこと

相手に無理やり紅茶を飲ませたり、飲まないことを責めたりしては絶対にいけません。

また、先週末は「飲みたい」と言った相手が、今日も同じように飲みたいとは限りません。この場合も、無理やり飲ませてはいけません。

これは、同意のないセックスを紅茶に例えたお話の一部です。イギリスの警察が作成したもので、日本語版もあります。「性的同意」、きちんと理解できていますか？

↓ 厚生労働省のホームページ性感染症で 検索

